

1978年宮城県沖地震30周年シンポジウム 「過去に学び、地震防災の新展開を考える」

日本地震工学会大会実行委員会(2008)では、都市型地震災害の原点ともいえる1978年宮城県沖地震の発生から30周年に際し、特別招待講演とパネルディスカッションを企画しました。特別招待講演では、30年前の災害教訓を振り返るとともに、宮城県沖地震の震源断層に関する最先端の研究成果をわかりやすく紹介して頂きます。パネルディスカッションでは、地震・地震動、土木、建築、機械、行政の各分野のパネリストからの基調報告と、学際連携に基づいた地震防災の新しい展開について総合討論が行われます。大会関係者のみならず、防災関係者や一般市民の方にとっても大いに役立つ内容となっておりますので、みなさまお誘い合わせのうえお気軽にご来場下さい。

主催：日本地震工学会大会実行委員会(2008)

共催：宮城県沖地震対策研究協議会 [定例宮城県沖地震シンポジウム(第7回)合同開催]

後援：(社)日本地震学会、(社)土木学会、(社)日本建築学会、(社)日本機械学会、(社)地盤工学会、
日本応用地質学会、(財)震災予防協会、日本自然災害学会、自然災害研究協議会、
(社)仙台市防災安全協会、仙台ライフライン防災情報ネットワーク、
国土交通省東北地方整備局・宮城県・仙台市(いずれも予定)

日時：2008年11月3日(月)祝 13:30~17:00

会場：仙台市情報・産業プラザ(アエル)5階多目的ホール(仙台市青葉区中央 1-3-1)

定員：350名

参加費：無料(当日直接会場へお越し下さい)

プログラム

13:00 会場受付、13:30 開会

総合司会：長田 正樹(大会実行委員、応用地質(株)東北支社)

1. 特別招待講演：13:40~15:00

柴田 明德(東北大学名誉教授、東北文化学園大学教授、日本地震工学会名誉会員)

「1978年宮城県沖地震の被害と教訓」

長谷川 昭(東北大学名誉教授、宮城県沖地震対策研究協議会会長)

「宮城県沖地震の震源域周辺で起きていること」

2. パネルディスカッション：15:10~17:00

「1978年宮城県沖地震30周年を契機に~学際連携による地震防災を考える~」

コーディネーター

源栄 正人(日本地震工学会大会実行委員会(2008)実行委員長、東北大学教授)

パネリスト(基調報告は各15分)

太田 裕(北海道大学名誉教授、東濃地震科学研究所副首席研究員、日本地震工学会名誉会員)

柳沢 栄司(東北大学名誉教授)

鈴木 浩平(日本地震工学会会長、首都大学東京名誉教授・副オープンユニバシティ長)

熊谷 龍一(宮城県総務部危機管理監)

柴田 明德(前掲)

長谷川 昭(前掲)

問い合わせ先

日本地震工学会大会実行委員会(2008)事務局

〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-11-1102

東北大学大学院工学研究科附属災害制御研究センター内 TEL 022-795-6169 / FAX 022-795-7854